

幸せ実感調査隊かわら版

【vol. 8】

～「第8回ながくて幸せ実感調査隊ミーティング」を開催～

市が目指す市民一人ひとりの幸福度が高いまちに向けて、『ながくて幸せ実感調査隊』の第8回ミーティングを開催しました(平成26年5月9日)。2月に「ながくて幸せ実感アンケート」を実施し、市民のみなさんからいただいた回答結果から長久手の現在の姿を話し合いました。



第8回のミーティングでは、「ながくて幸せ実感アンケート」で尋ねた分野ごとに、「集計結果から読み取れること」、「もっと分析したいこと」についてみんなで多くの意見を出し合い、分析を行いました。

アンケートについては、ミーティングでの意見を基に、引き続き、さらに詳細な分析を行っていきます。



「集計結果から読み取れること」(一例)

- 幸せと感じている人が多い。(幸せ感)
- 住み続けたいと思う人が増えている。(幸せ感)
- 特に50歳代が健康に不安を抱えている。(健康)
- 家庭で子どもとのコミュニケーションはとれているが地域の子どものコミュニケーションはあまりない。(子育て)
- 公園や遊び場が多い。東小校区は、自然は多いが公園等は少ない。(環境)
- つながりが大事だと思えない傾向にある。(つながり)
- 災害意識(参加も含めて)が低い。(防災・防犯)
- 福祉に対する幸せ感は低い。(福祉)
- 地域に自慢すべき「宝」がない。(文化・生涯学習)
- 生活インフラは充実していると感じる人が多い。(生活インフラ)

「もっと分析したいこと」(一例)

- 分野別結果に相関関係があるか分析したい。(全体)
- 小学校区別、年齢別、性別、収入別、職業別などとの関係性を分析したい。(全体)
- あいさつや近所付き合いに満足していないのはなぜか。(つながり)
- 福祉の充実感が低い原因は何だろう。(福祉)
- 長久手にとっての「宝」とは。(文化・生涯学習)
- 車を使う人と公共交通を使う人に幸せ感の違いはあるか。(生活インフラ)



【第9回ミーティング(予定)について】

今後のミーティングでは、アンケート結果のまとめと、アンケート結果から見えてくる長久手の現在の姿をどのように市民のみなさまにお伝えしていくか、アンケート結果をどのようにご活用していくかを検討していく予定です。